平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名　大倉工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4221　URL　http://www.okr-ind.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 高浜　和則
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役常務取締役コーポレートセンター担当兼経理部長　(氏名) 豊田　員史　TEL 0877-56-1111

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	39,953	△8.0	939	△37.7	860	△34.7	581	△61.4
23年12月期第2四半期	43,435	12.0	1,508	68.8	1,318	82.8	1,507	76.1

(注)包括利益　24年12月期第2四半期　595百万円　(△58.7%)　23年12月期第2四半期　1,442百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	9.50	―
23年12月期第2四半期	24.63	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	82,728	32,821	39.7
23年12月期	86,426	32,532	37.6

(参考) 自己資本　24年12月期第2四半期　32,821百万円　23年12月期　32,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	0.00	―	5.00	5.00
24年12月期	―	0.00			
24年12月期(予想)			―	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年 1月 1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,500	△2.7	2,000	△18.0	1,700	△19.1	900	△42.0	14.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	62,074,351 株	23年12月期	62,074,351 株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	875,754 株	23年12月期	870,139 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	61,201,099 株	23年12月期2Q	61,216,876 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… ２
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… ２
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… ３
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… ３
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… ４
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… ４
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… ４
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… ４
（４）追加情報 …… ４
３．四半期連結財務諸表 …… ５
（１）四半期連結貸借対照表 …… ５
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… ７
四半期連結損益計算書 …… ７
四半期連結包括利益計算書 …… ８
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… ９
（４）継続企業の前提に関する注記 …… １０
（５）セグメント情報等 …… １０
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… １０

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長引く円高や欧州債務問題の再燃、中国をはじめとする新興国等の成長率鈍化などの要因により、先行き不透明な状況が続いておりますが、エコカー補助金などの政策効果や東日本大震災からの復興需要に支えられ、緩やかに持ち直してまいりました。

このような状況の下、当社グループは細やかな拡販努力を重ねるとともに、生産効率の改善と固定費の削減に努めました。

しかし、建材事業におけるパーティクルボードのJIS認証取消しの影響などにより、当第２四半期連結累計期間の売上高は399億５千３百万円（前年同四半期比8.0％減）、営業利益は９億３千９百万円（前年同四半期比37.7％減）、経常利益は８億６千万円（前年同四半期比34.7％減）、四半期純利益は５億８千１百万円（前年同四半期比61.4％減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

〔合成樹脂事業〕

農業向け機能性マルチフィルムや乳酸飲料向けシュリンクフィルムなどの製品は販売数量が順調に推移しましたが、産業資材用プロテクトフィルムや産業用及び食品向けラミネートフィルムは販売数量が減少しました。

この結果、売上高は245億２百万円（前年同四半期比5.9％減）、営業利益は原油高による原料価格上昇の影響もあり17億９千４百万円（前年同四半期比18.0％減）となりました。

〔新規材料事業〕

スマートフォンやタブレット端末向けの光学フィルムは販売数量が順調に推移しましたが、一部の光学フィルムの加工業務を取引先の商流変更に伴い縮小したため、売上高は減少しました。

この結果、売上高は98億４千６百万円（前年同四半期比6.8％減）となりましたが、営業利益はスマートフォン向けの光学フィルムの販売数量増加により７億５千３百万円（前年同四半期比62.5％増）となりました。

〔建材事業〕

主力製品であるパーティクルボードの販売数量が、２月29日のJIS認証取消し以降大幅に減少した結果、売上高は30億９千９百万円（前年同四半期比32.9％減）となりました。

営業損失は返品となった商品に加え、当該品に係る在庫も処分したことなどにより９億７千２百万円（前年同四半期比５億２千７百万円悪化）となりました。

〔その他〕

木材加工（プレカット）事業及び宅地造成及び建物建築事業が順調に売上を伸ばしました。

この結果、売上高は25億４百万円（前年同四半期比12.8％増）、営業利益は１億４千１百万円（前年同四半期比59.3％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ36億９千８百万円減少し827億２千８百万円となりました。その主な内訳は、受取手形及び売掛金など流動資産の減少37億２千４百万円及び投資その他の資産など固定資産の増加２千６百万円によるものであります。

一方、負債につきましては、短期借入金など流動負債の減少41億４千３百万円、長期借入金など固定負債の増加１億５千６百万円により、前連結会計年度末に比べ39億８千６百万円減少し499億６百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金の増加２億７千５百万円などにより、前連結会計年度末に比べ２億８千８百万円増加し、328億２千１百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて2.0ポイント上昇し、39.7％となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ７億７千３百万円減少し、69億７千４百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は47億６千３百万円（前年同四半期は40億６千４百万円の増加）となりました。

主な内容は売上債権の減少額28億３千万円、減価償却費21億８千４百万円、税金等調整前四半期純利益８億５百万円、その他の流動資産の減少額６億２千９百万円による資金の増加と、仕入債務の減少額12億９千９百万円による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は27億５千８百万円（前年同四半期は14億９千９百万円の減少）となりました。

これは主に合成樹脂事業における製造設備などの有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は28億５百万円（前年同四半期は25億６千６百万円の減少）となりました。

主な内容は短期借入金の純減少額25億７千５百万円による資金の減少であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年７月27日に公表いたしました連結業績予想から修正はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,780	7,011
受取手形及び売掛金	24,935	22,138
商品及び製品	4,635	4,508
仕掛品	648	772
原材料及び貯蔵品	2,913	3,426
販売用不動産	128	183
繰延税金資産	561	448
その他	1,261	629
貸倒引当金	△39	△18
流動資産合計	42,826	39,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,633	17,725
機械装置及び運搬具（純額）	9,963	9,731
土地	6,983	6,983
建設仮勘定	1,898	1,346
その他（純額）	636	684
有形固定資産合計	37,115	36,471
無形固定資産	181	178
投資その他の資産		
投資有価証券	5,140	5,314
繰延税金資産	306	310
その他	933	1,394
貸倒引当金	△76	△43
投資その他の資産合計	6,302	6,976
固定資産合計	43,600	43,626
資産合計	86,426	82,728

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,428	16,129
短期借入金	10,765	8,190
1年内返済予定の長期借入金	2,507	2,476
リース債務	649	661
未払法人税等	191	180
設備関係支払手形	706	124
建物等除却損失引当金	119	49
その他	5,744	6,158
流動負債合計	38,112	33,969
固定負債		
長期借入金	9,400	9,828
リース債務	2,626	2,306
退職給付引当金	2,543	2,586
役員退職慰労引当金	252	278
その他	959	937
固定負債合計	15,781	15,937
負債合計	53,893	49,906
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,619	8,619
資本剰余金	9,068	9,068
利益剰余金	15,071	15,347
自己株式	△416	△417
株主資本合計	32,343	32,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189	203
その他の包括利益累計額合計	189	203
純資産合計	32,532	32,821
負債純資産合計	86,426	82,728

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	43,435	39,953
売上原価	37,312	34,303
売上総利益	6,122	5,649
販売費及び一般管理費		
販売手数料	43	49
運送費及び保管費	1,446	1,230
給料	987	1,046
賞与	271	263
役員報酬	145	136
退職給付費用	72	81
役員退職慰労引当金繰入額	19	29
減価償却費	60	65
研究開発費	586	514
貸倒引当金繰入額	3	△25
その他	977	1,320
販売費及び一般管理費合計	4,614	4,710
営業利益	1,508	939
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	61	60
為替差益	―	38
雑収入	68	71
営業外収益合計	132	173
営業外費用		
支払利息	240	213
債権売却損	18	18
為替差損	23	―
雑損失	38	20
営業外費用合計	321	251
経常利益	1,318	860
特別利益		
貸倒引当金戻入額	179	―
保証債務戻入額	23	―
固定資産売却益	1	3
特別利益合計	203	3
特別損失		
固定資産除売却損	71	26
投資有価証券評価損	25	31
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8	―
特別損失合計	105	58
税金等調整前四半期純利益	1,416	805
法人税、住民税及び事業税	142	153
法人税等調整額	△233	70
法人税等合計	△90	224
少数株主損益調整前四半期純利益	1,507	581
四半期純利益	1,507	581

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,507	581
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64	14
その他の包括利益合計	△64	14
四半期包括利益	1,442	595
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,442	595
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,416	805
減価償却費	2,355	2,184
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△176	△54
退職給付引当金の増減額（△は減少）	80	43
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	5	26
建物等除却損失引当金の増減額（△は減少）	△10	△69
受取利息及び受取配当金	△63	△62
支払利息	240	213
為替差損益（△は益）	5	△30
投資有価証券評価損益（△は益）	25	31
固定資産除売却損益（△は益）	64	21
売上債権の増減額（△は増加）	144	2,830
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,109	△565
その他の流動資産の増減額（△は増加）	1,178	629
仕入債務の増減額（△は減少）	316	△1,299
未払消費税等の増減額（△は減少）	△47	22
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△18	366
その他	△29	△18
小計	4,382	5,075
利息及び配当金の受取額	63	62
利息の支払額	△248	△212
法人税等の支払額	△133	△161
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,064	4,763
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,484	△2,088
有形固定資産の売却による収入	13	6
投資有価証券の取得による支出	△4	△154
貸付金の回収による収入	4	5
関係会社出資金の払込による支出	－	△521
その他	△29	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,499	△2,758
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△2,375	△2,575
長期借入れによる収入	1,300	1,885
長期借入金の返済による支出	△998	△1,488
リース債務の返済による支出	△309	△323
自己株式の取得による支出	△3	△1
配当金の支払額	△180	△301
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,566	△2,805
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	27
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△5	△773
現金及び現金同等物の期首残高	7,553	7,747
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,548	6,974

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成23年１月１日　至　平成23年６月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	合成樹脂事業	新規材料事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,028	10,569	4,618	41,215	2,219	43,435	―	43,435
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	―	―	2	245	247	△ 247	―
計	26,030	10,569	4,618	41,218	2,465	43,683	△ 247	43,435
セグメント利益又はセグメント損失(△)	2,188	463	△ 444	2,206	88	2,295	△ 787	1,508

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、木材加工事業、宅地造成及び建物建築事業、情報処理システム開発事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△787百万円には、セグメント間取引消去△０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△787百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成24年１月１日　至　平成24年６月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	合成樹脂事業	新規材料事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,502	9,846	3,099	37,448	2,504	39,953	―	39,953
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	―	―	1	254	256	△ 256	―
計	24,504	9,846	3,099	37,450	2,759	40,209	△ 256	39,953
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,794	753	△ 972	1,576	141	1,717	△ 778	939

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、木材加工事業、宅地造成及び建物建築事業、情報処理システム開発事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△778百万円には、セグメント間取引消去△０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△778百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。